

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Daisy kids堺		
○保護者評価実施期間	2025年 8月 1日		2025年 9月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年 8月 1日		2025年 9月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 9月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童と保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されている	スタッフ全体で日々のこどもの様子を共有し、様々な角度から必要な支援や支援の方向性を検討している。	以前よりもさらに個性の高い支援を実現するために、スタッフ全体で視点について共通理解ができるよう研修・支援会議を引き続き行う。
2	ご家族へのサポート	電話やメール等での相談があった場合、時間調整を行いながら、ご家族の思いに寄り添い、一緒に方向性を導き出せるように面談等を行っている。 利用予定日に利用が難しい場合は、振替を調整	年3回の保護者会では、保護者同士の交流や学びの時間を設けているので、ご意見を聞きながら、安心して通所できる環境を整えていきます。
3	年齢や発達段階に応じたメニューの提供を心掛けている	ルーティンの動きを大切に、不安を減らし、自立に繋げていくプログラムです。同じ体幹トレーニングでも、教具を変えたり、配置を変えたりするなどし、利用児の視点に立ちプログラムを組んでいる	児童記録を通じ、スタッフ間でもそれぞれの関わりを共有できるようにし、偏りの無いようにしている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	新しく入職した職員とご家族との面識や交流の機会が少ない	勤務時間や日数の関係上、送迎添乗員としての勤務時間がないこと。面談や担当者会議に出る職員が限定されている。	可能な限り、送迎の際、保護者とのコミュニケーションを意識する。写真等の紹介を作成する。年2-3回開催されている保護者会では、多くの職員が面識を持てるようにする。
2			
3			

## 公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日					回収数	10	
	2025年 9月 25日							
利用児童数					18		回収数	10
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	90%	10%		お友達とぶつかったと伺うので狭いのかな?と思いました。	環境整備とともにスタッフの立ち位置や特性等の情報共有などに努めて怪我の防止に努めます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	80%		20%			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	90%		10%			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%			活動内容の写真を見ると意欲的に取り組んでいるように見える。写真がなかったらお話しする機会が短いのでわからなかったと思う。	活動の様子を少しでも伝えられるよう写真の提供を続けていきたいと思います。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	90%		10%	・支援を受けられているとは思いますが、こればかりは親側が理解不足すぎてなんとも言えないです ・個別療育と集団療育をバランスよく取り組んでくださっていると思います。	面談時に、現状と課題・支援方法を説明していきます。また、個別支援計画書にもできる限り詳細に記載していきます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	90%		10%	多分あってと思います		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	90%		10%	はい。多分ちゃんとできていると思います。		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	90%		10%	ごめんなさい。質問の内容がわかりません。		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10%					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	90%		10%	・色々な体験を心がけていただいていると思います ・お散歩や外遊びがたまにプログラムに組み込まれたらいいなと思うことはあります。	フットサル場でのイベントや保護者同伴でのお散歩（避難訓練兼）等、今後もイベントも実施できるように努めます。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	70%		30%	質問の意図がわかりません。子どもが事業所以外の子どもと活動する機会という意味であれば保育園に行っているのでは「はい」になります		
保 護	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	90%		10%			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	100%			保育園と比べると会話する機会が格段に少ないので、(送迎が受け身なので仕方ないですが)難しいですが、伝わっているとは思いますが		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%			まだ2ヶ月なので。ただヘルプには丁寧に連絡いただきました。		

者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	80%	10%		10%	・保護者交流会は実施されているが、きょうだい児の交流会はされていないように思う。 ・まだ参加できていないので。	きょうだい支援については、利用している保護者の方の意見も聞きながら、今後実施も考慮していきたいとします。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	90%			10%		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	80%	10%		10%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	90%			10%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100%					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	100%					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	90%			10%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	90%			10%	喋れないのでわからない	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%				多分楽しんでいると思います。写真が笑顔なので。ただ喋れないのでわかりません	
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				子供の特性に合わせながら、適切に支援していただいていると思います。いつもありがとうございます。  すべて大満足です◎ いつも本当にありがとうございます!!	

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		Daisykids 堺		公表日		2025年 9月 25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		設定の配置数を超える職員が在籍している、手厚く感じる		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%			トイレゲートの劣化は改善、食事の部屋にピアノが設置されており、ピアノ下でオヤツを食べる子がいるので災害時や転倒時は	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	71.40%	28.60%		換気、空気の入替えが出来ると思いなと思う 手洗い場の数が一つで、動線的に混雑する場面が多々ある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	85.70%	14.30%			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		毎日のミーティング	些細なミーティング内容の記録が残りづらく口頭での伝達になりがち	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		職員全体で支援計画書の確認と一筆書いている		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%				
	15	こどもの週別行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%				

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	71.40%	28.60%	大体のすべき活動をカレンダーに記載している。	職員個々の力量次第などところがある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	71.4	28.60%		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%			その日のグループ活動は、活動始まる直前に決まることもある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%			翌朝のミーティングの記録にも残すべき
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	85.70%	14.30%		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	71.40%	28.60%		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	28.60%	71.40%			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	85.70%	14.30%			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%				

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%			
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	28.60%	71.40%		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%				